

企画書

プロジェクト名「カメラを使った姿勢改善アプリケーション開発プロジェクト」

概要

不適切な姿勢は「健康」にも大きく影響を与えている。このコンテンツを利用することで、普段自分がどのような姿勢をしているのかを、骨格認識で画像として確認して改善を目指す。正しい姿勢を「習慣」とし、健康な体を手に入れ、意識付けをしていく。そのためのアプリケーションを作成していく。

目的

不適切な姿勢をとって生活していると、太りやすくなり、疲れやすくなる。特に太りやすくなるということは、肥満になりやすいということであり、病気の原因となりやすい。また、疲れに関しては、肩こり、腰痛の原因にもなってくる。このように、不適切な姿勢をとることで「健康」にも大きく影響を与えている。不適切な姿勢をした利用者の姿勢改善を促すアプリケーションを作成する。

目標

OpenCv・Open pose で、画像描画・骨格認識を行うことによって、日々の改善成果や、改善点を、自分の姿勢を見て確認する。

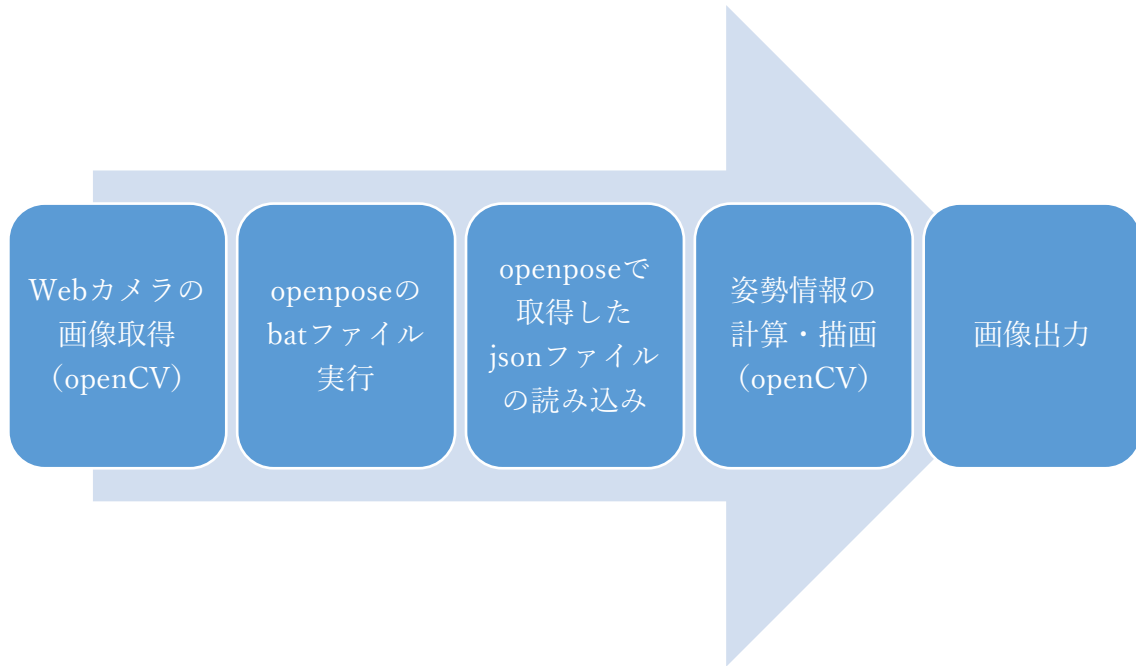
このアプリケーションを継続的に使用していくことによって
正しい姿勢をキープし続ける「習慣」を身に着ける

自分の健康状態にもかかわってくる姿勢としっかり向き合い、「健康」に対して意識付けをする

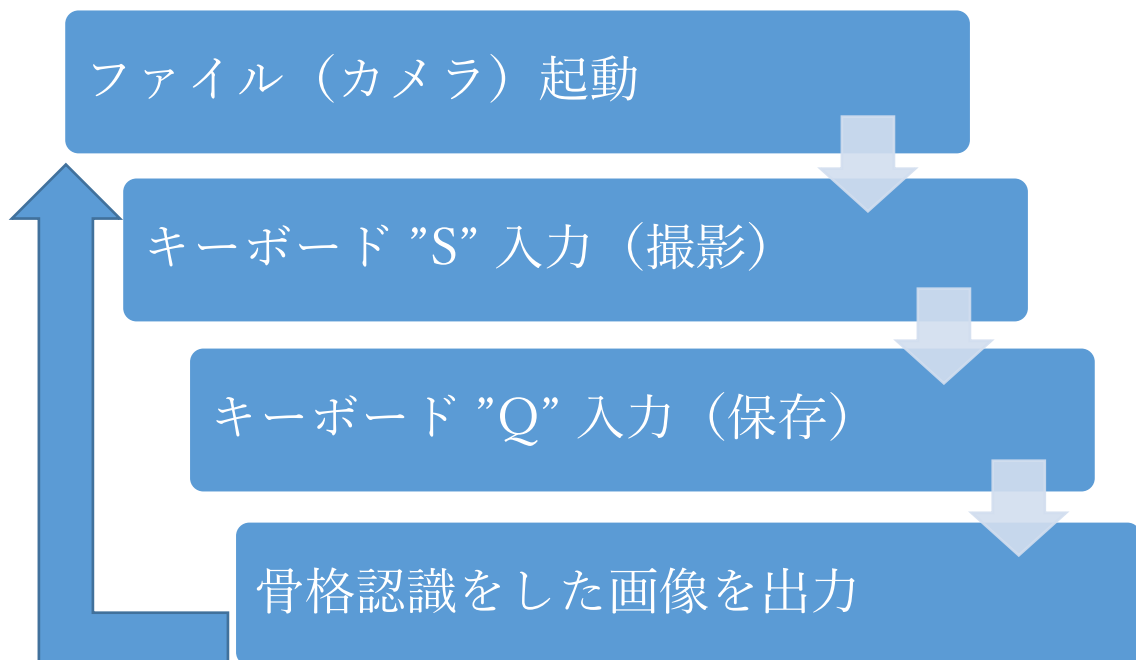
クライアント

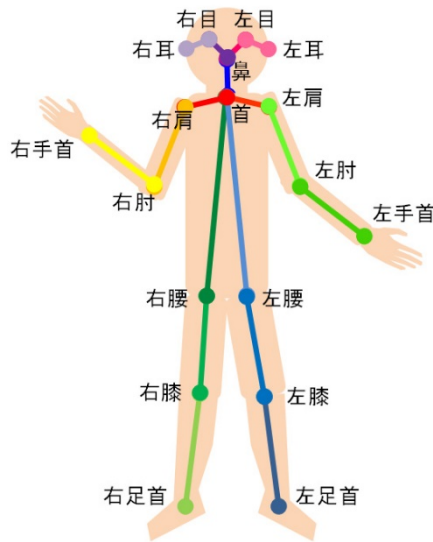
- ・フィットネスクラブ
(正しい姿勢でストレッチやヨガを行うことが好ましいため)
- ・病院等
(姿勢が悪い人に診察を進める)

システム構成図



利用者手順





- ・ json 読み込み
⇒ open pose で認識した姿勢の一点一点の座標を python に読み込む。
- ・ 姿勢情報の計算・描画 (openCV)
⇒ 点と点を結ぶ線分の角度を計算し、基準の角度と比較し一定以上ずれがあった場合色を変化させる
- 。

Json ファイル {X 座標, Y 座標, 点の信頼度,}

